研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-169	A-179	20-075	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Functional-Belief-Based Alcohol Use Questionnaire (FBAQ) as a Pre-Screening Tool for High-Risk Drinking Behaviors among Young Adults: A Northern Thai Cross-Sectional Survey Analysis

若年成人における高リスクな飲酒行動の事前スクリーニングツールである機能的信念に基づくアルコール使用質問票（FBAQ）：タイ北部での横断的調査による分析

執筆者

Yingchankul N, Jiraporncharoen W, Pateekhum C, Jiraniramai S, Thaikla K, Angkurawaranon C, Phinyo P.

掲載誌

Int J Environ Res Public Health. 2021 Feb 5;18(4):1536. doi: 10.3390/ijerph18041536.

キーワード	PMID
信念、行動、アルコール使用、AUDIT、標準飲酒量、スクリーニング	33562789

要　旨

目的：　アルコール使用障害識別テスト（AUDIT）は、高リスクの飲酒行動に対する一般的なスクリーニングツールであるが、標準的な飲酒量を計算するのが難しく、不正確な推定値になる可能性がある。本研究では、若年成人の高リスク飲酒者を特定するための実用的な事前スクリーニングツールを開発することを目的とした。

方法：2016 年 7 月から 2016 年 12 月にかけて、タイ北部で横断的な調査を実施した。関連する特性および飲酒に関する健康上の信念に関するデータを収集し、12 か月間の AUDIT を比較基準とした。スコア導出にはロジスティック回帰を用いた。判別能力は、ROC 曲線下面積（AuROC）で評価した。

結果：合計 1,401 名の若年成人が対象となった。そのうち、791 人（56.5%）が現在飲酒者であった。3 つの機能的信念項目(飲酒が楽しくて止められない、ストレスや怒りを感じる時に飲酒をすると落ち着く、飲酒をすると社交的になれる)が高リスク飲酒の独立した予測因子として同定され、機能的信念に基づくアルコール使用質問票（FBAQ）の作成に用いられた。機能的信念に基づくアルコール使用質問票（FBAQ）は、ROC 曲線下面積は 0.74（95%信頼区間（CI） 0.70、0.77）であった。

結論：FBAQ は 3 つの単純な信念の質問で構成されており，算出が難しい飲酒量の計算を必要としない。若年成人のアルコール使用障害のマススクリーニングプログラムでは，FBAQ スコアと AUDIT を連続して実施することが，より効果的な方法かもしれない。